

(右から反時計回りに) 平べったい頭と体が特徴的なマゴチ▽全身を砂の上に出し、じっとする▽砂に潜って獲物待つ



マゴチ

学名 *Platycephalus sp.*

分類	カサゴ目コチ科
全長	最大60センチ
分布	宮城県・新潟県以南の各地、朝鮮半島、中国大陆と朝鮮半島の間にある黄海、東シナ海
特徴	頭部、体ともに平たいというコチ類に共通する独特の形をしている。砂泥域の海底に身を潜め、頭部の背面側にある目で見上げながら近寄ってくる獲物待ち伏せている。口は大きく下あごが上あごよりも前に突出しており、小型の魚類やエビ、カニなどの甲殻類をすくい上げるように丸のみにして捕食する。産卵期は初夏で海岸近くの浅場までやってきて産卵を行う。夏～秋が旬のおいしい魚でもある。

瞬発力で獲物を丸のみ

マゴチは平たい頭に大きな口が特徴の魚で、最大で60センチを超えることもありま

す。漁獲量が少なく、あまり市場に出回らないため、高級魚としてありがたいが、水族館の目の前にあるイル

カ水路にもマゴチがいます。毎朝の清掃で水路に潜る時は、探すが楽しみです。隠れ方や場所も毎日異なり、堂々と全身を見せていることもあれば、砂に隠れて目と口だけを出していることもありま

す。見つからないかと思いつているのか軽くつついてもじっとしているかと思えば、突

おもしろ生き物図鑑

かごしま水族館から

然すごいスピードで逃げ出して驚かされることも。その瞬発力こそが特徴で、海底に潜んで、近づいた獲物を大きな口で丸のみにするハンターでもあるのです。

ひと昔前までは、性転換をすると考えられていました。それには理由があります。50センチほどのマゴチは、ほぼ全てが雌です。このことからマゴチは成長に合わせ雄から雌へ変わると考えられました。しかし現在は、大型化するのには雌のみで、雄は50センチ以下にしか成長しないという説が有力です。

今、正しいと言われていることが数年、数十年後には違っているというのも、人間が計り知ることのできない生き物の面白さなのかもしれません。(展示課海獣展示係

・中村政之)